

第1回 大縄集会

ペア学年とふれあう

10月12日(木)に大縄集会が開かれました。今年度からは、異学年交流のさらなる充実のために「なにかよし交流タイム(夏休み前号で紹介)」の一環として、取り組みました。どの学級もクラス新記録の樹立を目指して、学活の時間や休み時間を使って、熱心に練習してきました。

交流クラスと一緒に大縄の練習に取り組む中で、上級生が下級生にアドバイスをしたり、上級生が跳ぶ様子を見て下級生がコツをつかんだり、掛け声を真似したり。8の字跳びや連続跳びに初めて挑戦する1年生に、縄に入るタイミングをペアの6年生が教えたり、縄をテンポよく回したり。などなど、大縄集会当日はもちろん、練習中から「学年を超えて交流する姿」がたくさん見られました。集会当日は、新記録を出したクラスに祝福の拍手が送られ、とてもよい雰囲気につつまれました。

12月14日(木)に、第2回大縄集会が予定されています。相手を思いやり、互いに声をかけ合い、学び合いながら練習を重ね、「みんなで跳べてよかった!」「クラスで団結するのがいいな!」と感じる時間になるよう、指導していきます。



6年生の巧みな縄さばきで記録を伸ばしました。(1年生)



ペア学年の4年生に応援されながら跳びました。(2年生)



大縄集会の司会進行は、ザ・スポーツ委員会が担当しました。

社会科 工場見学(3年)

本物や友だちとふれあう

10月20日(金)に、東芝未来科学館と味の素KK川崎工場へ行ってきました。今回の見学は、まち探検やスーパー見学のふり返りを生かし、工場で働く人に注目しながら、商品のできるまでについて学習しました。公共の場でのマナーやルールに、一人ひとりが気を付けて行動することにも取り組みました。

味の素KK川崎工場では、「味の素」開発の歩みや、「ほんだし」ができるまでの工程を中心に学びました。工場内の様子・働いている方の服装・製造過程など、全てにおいて安全性と衛生面に、気を付けていることや、材料となる「かつお節」の品質を重視していることなど、詳しい説明を聞きました。また、「だし」を入れる前と後の味噌汁を飲み比べることで、「だし」のうま味(第五の味覚)を実感することができました。

東芝未来科学館では、現代社会を支える科学技術について、体験的に楽しく学ぶことができました。クイズ形式のサイエンスショーでは、『液体窒素の中に、バラの花やゴムボール、風船を入れたらどうなるのか』など、予想を立ててから実験で確かめるといふ、科学の世界の面白さを体感できました。グループ活動では、お互いに譲り合い、協力して行動する姿から、子どもたちの成長を感じる一日となりました。



かつお節削りに挑戦!意外と難しく、力があることに驚きました。



未来科学館では、様々な体験をグループで行いました。